

# 区政Now！（令和3年2月号）

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

発行：荒川区

いふこた



新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大に伴い、1月7日に緊急事態宣言が発出されました。区では区報や防災行政無線により感染拡大防止のためのご協力をお願いすると共に、施設の利用を19時まで制限する等の対策をとってまいりましたが、その後も感染拡大が続き、2月2日には10都府県における緊急事態宣言の延長が決まりました。区内の感染者数は、2月1日時点で1,591名です。1週間あたりの新規感染者数は、令和2年3月～12月の平均と1月の平均を比較すると約9倍に増加しています。また、直近1ヶ月の区内における新規感染者のうち約7割が感染経路不明です。無症状や軽症の方が、気付かないうちに感染を広げている可能性もあります。引き続き、不要不急の外出を自粛し、やむを得ず外出する際には、「換気の悪い密閉空間」「多くの人々が密集する場所」「近距離での密接した会話」の3つの条件が重なる場所を避け、マスクを着用し、手洗いや消毒を心掛けてください。また、ご家庭でご家族とお過ごしになる際にも、外出時と同様に最新の注意を払っていただきますようお願いいたします。

## 「ふらっとにっぽり」が開館しました

1月25日、荒川区立日暮里地域活性化施設（愛称名「ふらっとにっぽり」）が開館しました。

館内にはファッション関連産業の創業を支援する施設「イデタチ東京」があり、創業間もない中小企業や創業を予定している方に使用して頂くインキュベーションオフィス（4室）とシェアオフィス（1室）を設置しています。（第1期入居者募集は終了しました。）2月中旬には、趣味として手芸を楽しむ方に利用頂けるミシン等を設置した創作スペースと、専門性の高い作品を製作する方に利用頂ける各種ミシンやデジタル加工機等を設置した工房を開設し、日暮里繊維街で調達した素材を活かしたワークショップ等の体験型イベント等も開催予定です。



施設外観

皆様に楽しみに立ち寄って頂ける施設となるよう、工夫をこらした施設運営に取り組んでまいります。

## 飲食店をはじめとした区内中小企業等への支援を拡充します。

新型コロナウイルスにより影響を受けている飲食店をはじめとした区内中小企業等に対し、区では様々な支援を行っています。当初、令和3年1月29日までとしていた中小企業等相談窓口については、令和3年3月末まで開設期間を延長しました。本庁舎6階産業経済部会議室を会場とし、中小企業診断士等が、感染拡大防止協力金や雇用調整助成金等の申請手続き、感染防止徹底宣言ステッカーの作成支援等を行います。

また、本人負担金利0.3%、信用保証料の全額を区が補助する区独自の特別融資制度を創設したほか、新型コロナウイルス感染症で影響を受ける飲食店等を支援するイベントへの補助金の補助率を2分の1から3分の2に拡充しました。

これまで行ってきた中小企業等のテレワークや区内飲食店のテイクアウト等の取組を支援する補助金、雇用調整助成金の申請代行費用への補助金等や新型コロナウイルス感染対応荒川区職業相談窓口等の支援策についても継続し、区内中小企業等を支援してまいります。

主な事業

## 環境にやさしいまちの実現、シェアサイクルを本格実施します。

令和元年8月から実施していたシェアサイクルの実証実験について、大変良好であり、「新しい生活様式」にも適応した交通手段として、今後利用が高まることが予想されることから、令和3年1月29日から本格実施へ移行しました。

シェアサイクルは、専用アプリで事前に利用者登録を行っていただき、15分70円(12時間1000円)で利用できます。サイクルポートは、区内の駅周辺や区立公園、コンビニエンスストア等、合計46か所(令和3年1月時点)に設置しています。

シェアサイクルは片道でも利用でき、同じ運営事業者(オープンストリート株式会社)であれば他の自治体との相互乗り入れも可能です。シェアサイクルを本格実施することで、環境にやさしいまち・あらかわの実現に向けた取組をさらに推進してまいります。

## 障害者スポーツ「車椅子空手」の講演を開催しました。

昨年12月12日、荒川たんぼぼセンターで、障がい者地域自立生活支援セミナー「知りたい!車椅子空手」を開催し、NPO法人日本空手松涛連盟による演武の披露や参加者の体験を行いました。



車椅子空手を体験する  
参加者

車椅子空手道とは、障害者スポーツのひとつで、椅子に座って行うため、障がい者をはじめ、子どもから高齢者まで参加できるものです。当日は、10名の参加者が、空手七段で、指導員である山口貴史さん(連盟の国際部長兼事務局長)から、基本、型や組み手などの説明を受け、お手本を見ながら、挑戦していました。参加した70代の男性は、「空手は初めての経験でしたが、楽しかったです。」と話してくれました。

これまで、障がい者地域自立生活支援セミナーでは、障がいのある方がその人らしさを発揮できる場に繋がるきっかけづくりを支援してまいりました。今後も、障がい者とその家族の地域における生活を支援し、自立と社会参加の促進を図ってまいります。

## 明るい選挙ポスターコンクール表彰式を、区議会議場で開催しました。

12月15日、「明るい選挙ポスターコンクール表彰式」が荒川区議会議場で行われ、小・中学生あわせて172点の応募作品の中から選ばれた、10名が表彰されました。



受賞した児童や生徒たち

これまで表彰式は、区役所内の会議室で行ってききましたが、将来の有権者である児童・生徒の皆さんに、区政に少しでも関心を持ってもらうため、今回初めて、選挙で選ばれた議員が区政について話し合いを行う場である区議会議場での開催となりました。優秀賞の区立峡田小学校1年の石川杏奈(いしかわ・あんな)さんは「絵をかくのが得意なので、賞をとれてうれしいです。」と話してくれました。

明るい選挙とは、私たち有権者が主権者としての自覚を持って投票に参加することで、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のことです。今後とも、明るい選挙を推進し、普及啓発に努めてまいります。